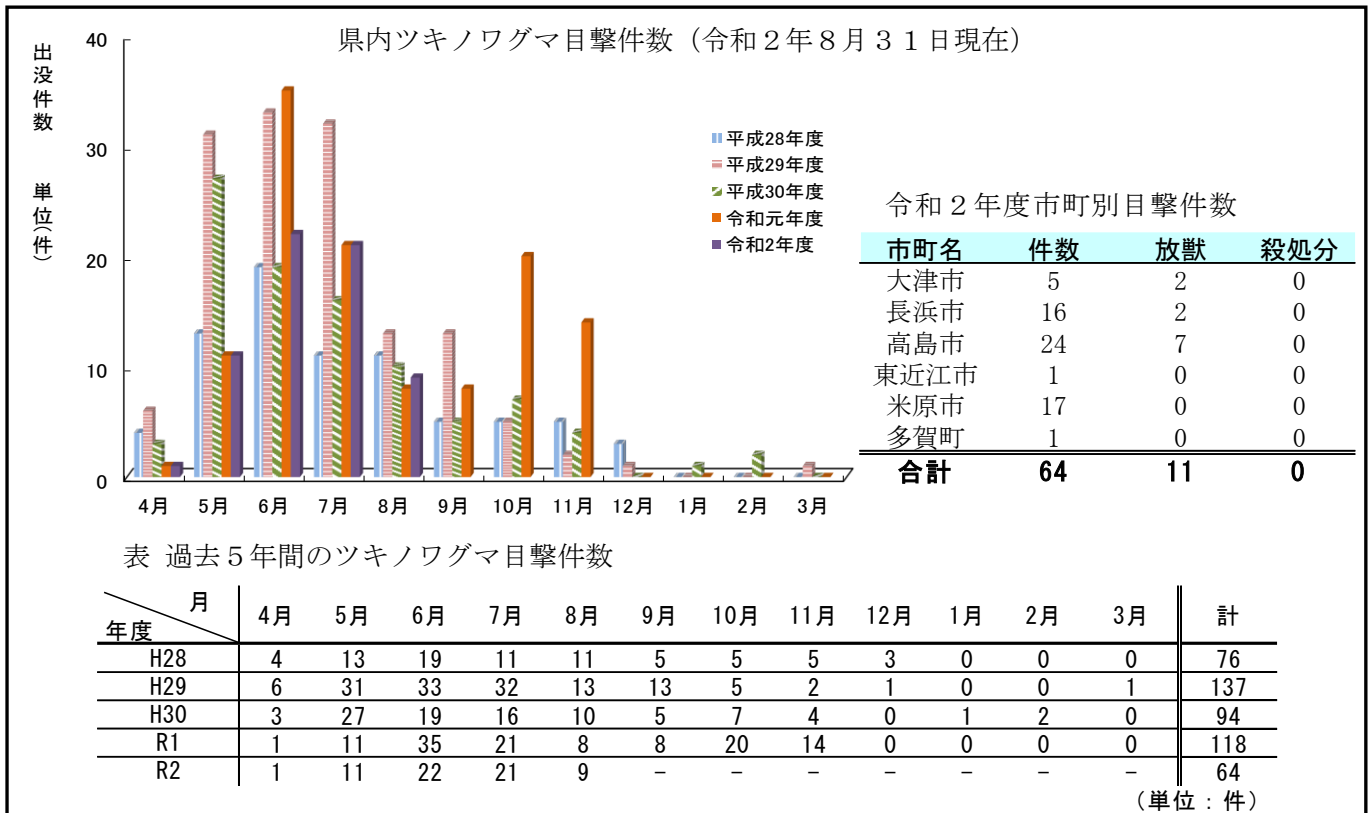


ツキノワグマから身を守るために

今年も県内においてツキノワグマが「64」件目撃されています(令和2年8月31日現在)。

今年の秋はツキノワグマの生息地域付近の集落へ出没する可能性があります。十分に警戒をお願いします。

ツキノワグマから身を守るために以下のことに心がけてください。



1. 滋賀県内のツキノワグマについて

(1) 滋賀県内におけるツキノワグマの主な生息域は、湖北地域・湖西地域・比良山系・鈴鹿山系です。主な出没地点は、湖西地域と湖北地域の山地と平野部の境界部ですが、平成22年および平成26年の大量出没の状況から類推すると、**低標高地域にも出没する可能性があります**。大量出没年の出没位置については、自然環境保全課HP(下記URL)を参照してください。

URL : <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shizen/300479.html>

(2) ツキノワグマは東中国地域、紀伊半島など6つの地域個体群が絶滅の恐れがあるとされており、滋賀県のツキノワグマも「滋賀県レッドデータブック2015年版」で、県内において**存続基盤が脆弱な「希少種」**として位置づけられており、被害の防止を図りながらその安定的な生息を図ることが重要です。

(3) ツキノワグマは、本来は大変臆病で温厚な動物です。「猛獣」だと思っておられる方もいますが、過度に恐れることはありません。ツキノワグマとの**遭遇を少なくすることが、被害の防止につながる**と考えられます。

2. ツキノワグマを引き寄せないために

(1) 人家のまわりやキャンプ場などは、ゴミの管理を徹底してください。墓地の供え物は持ち帰ってください。ハイキング、登山、溪流釣りなどで出た生ゴミは必ず持ち帰ってください。

(2) 人家のまわりで収穫の予定のない柿や栗の実、ハチの巣は撤去してください。

3. ツキノワグマと遭遇しないために

(1) ツキノワグマに自分の存在を知らせてください。

ツキノワグマは、嗅覚や聴覚が人より優れ、人の接近をいち早く察知し、人を避けます。ラジオ、笛、

鈴などで音を出して行動してください。

- (2) ツキノワグマがエサをとりにくる林などでは行動しないでください。

ドングリ類、クルミ、カキ、クリ、アケビなどが実っている林にはツキノワグマが潜んでいる可能性がありますので、近づかないようにしてください。やむを得ずそのような場所に入る場合は、複数の人で大きな音を出しながら入り、ツキノワグマの新しい糞や足跡などをみつけたら引き返してください。

- (3) 早朝や夕方外出は注意が必要です。

ツキノワグマは人里近くに出てくる場合、夜間行動することが多いので、夜間はできるだけ外出しないようにしてください。人家周辺でも出没することがあります。周辺地域で出没情報があるときは、常に周囲に注意を払うよう心がけ、外出する場合には、単独の行動は避けてください。

- (4) やぶや暗い林を刈り払い、見通しをよくしてください。

ツキノワグマが身を隠せるような道端のやぶや暗い林を刈り開き、見通しをよくすることは、不意の遭遇を避けるうえで効果があると考えられています。やり方についてはご相談ください。

4. それでも、ツキノワグマと遭遇してしまったら

- (1) ツキノワグマまで距離があるのなら、そっと立ち去ってください。子グマに出会った場合も、近くに親グマがいる可能性が高く、危険です。
- (2) ツキノワグマを興奮させることは大変危険です。急に大声を出したり、ものを投げつけたりせず、逃げる機会を与えるよう心がけてください。
- (3) ツキノワグマは逃げるものを追いかける習性がありますので、走って逃げず、背中を見せないように、静かに退避してください。
- (4) 攻撃が避けられない状況になったら、地面のくぼみにうつ伏せになり、両手で首の後ろをガードすることによって、頭部、首などの急所を守ってください。

5. 令和2年度の7十科樹種の豊凶調査の結果について（協力：滋賀県立大学環境科学部環境生態学科 野間研究室）

今年度秋期のツキノワグマの出没予測に役立てる目的で、湖北および高島地方の山地数ヶ所において堅果類の結実調査を行いました。これまでの研究により、ブナ・ミズナラ・コナラ等は、ある程度の広がりを持った地域で結実の豊凶が同調することが知られています。

- (1) 令和2年度の結実状況　ブナは凶作でした。ミズナラは並作でした。コナラは不作でした。

今年度のブナは着果個体がほとんど確認されず凶作であると考えられます。ミズナラは地域や個体によってばらつきがみられるものの並作であると考えられます。また、コナラについては地域や個体によって着果度にバラつきが見られるものの、全体的には密に着果している個体は少ないため、不作であると考えられます。液果類やクリについては平年並みに着果が見られます。

- (2) ツキノワグマの出没予測

令和2年度の堅果類全体の実なりについては全体的に平年と同じぐらいの状況であり、平年並みにツキノワグマが生息地域付近の集落へ出没する可能性があります。十分に警戒をお願いします。

- (3) ツキノワグマの出没予測は、豊凶調査をはじめとする複数の調査結果に基づき総合的に行われます。

ツキノワグマによる出没事故の防止につなげるべく、今後も調査を継続していきますので、目撃情報の提供等、ご協力をお願いします。

6. 目撃情報は市町または滋賀県、最寄の警察署(110番)へ

- (1) 人家近くでツキノワグマを目撃した場合は、直ちに連絡してください。パトロールや集団登下校などの対策が迅速に実施できます。
- (2) 提供していただきたい情報は、「目撃場所」「目撃時間」「大きさ」「移動方向」「何をしていたか」などです。